



関中央ロータリークラブ

2016-2017 WEEKLY REPORT



例会日 毎週木曜日 18時30分

例会場 関観光ホテル（関市池尻91-2）

事務局 関市西本郷通5-2-53 TEL0575-24-7332・FAX0575-23-5278

会長:石原 妙生 **副会長**:川村 紳一 **幹事**:波多野 篤志 **クラブ会報委員長**:吉田 和也

2016~2017年
国際ロータリー会長
ジョン F. ジャーム

ロータリーで何か発見を！

2016~2017年度 関中央RC会長テーマ

四つのテスト
・真実かどうか
・みんなに公平か
・好意と友好を深めるか
・みんなのためになるかどうか

本日のプログラム 第1888回例会 2017年2月9日（木）

卓話 関市役所 関市文化財保護センター 森島 一貴様

テーマ「関市の文化財」 / 担当 ロータリー情報委員会

前例会の記録

第1887回 2017年2月2日（木）

関商工高等学校

テーマ「台湾交流の報告」/担当 会長・幹事

*国歌斉唱 「君が代」 斉唱

*ロータリーソング「奉仕の理想」 斉唱

*ロータリー情報委員会 伊佐地委員長

「四つのテスト」 唱和

*お客様紹介

*会長あいさつ 石原妙生会長

本日は2月2日、そして明日は2月3日ということで節分です。

「鬼は外」・「福は内」と言っ豆をまく行事ですが、実は節分とは「季節を分ける」ことを意味し、各季節の始まりの前日、つまり立春の前日のことです。

季節の変わり目には邪気（鬼）が生じると考えられており、それを払うために「生命力」と「魔除け」の呪力（のろいの力・超自然的力）があると言われている穀物の「豆」をまいて邪気を払い、一年の無病息災を願



う意味があります。

その豆はご存じのように、炒り豆を使用しますが、節分は厄災を負って払い捨てられるものなので、撒いた豆から目が出るのは良くない為であります。

さて、今日は関商工の皆さんに台湾交流について報告を頂きますので、私からも国際交流についての話をさせて頂きます。

国際交流とは当たり前ですが、世界各国の人々と交流を持つことでありますが、異なる価値観を知ることや、自分の居場所を客観的に見えることや、いろんな文化に触れて見識を広げるためにも非常に意義があります。又、「交流」とは英語ではコミュニケーションが当てられると思いますが、“同じものを持つ者達の交わり”を言うそうですが、互いが等しい立場で、互いに触れ合うことで成立すると言われていいます。

国際交流を通じて得る事があると思いますが、まず一つ目は「グローバル感覚の育成」です。外国と自分の地域とのつながりを実感し、他の国々の人達とも繋がっているという感覚を感じ、世界での協調・協力の必要性を実感できる。

二つ目は「多角的・多面的な価値観の獲得」で、外国を知ることで今までより広い角度で考える事が出来る様になり、新たな価値観を得て理解の幅が広がります。三つ目は「学習へのモチベーションの向上」で、外国との繋がりを意識する事により関わりを深めようとする事で、学習の必要性が生まれます。

以上の様に国際交流は大変意義のあることで事業としても継続して行けたら良いと思います。

とにかく違う国の人々と交流するというのは、いろいろな発見があると思います。その発見を自分にとって活かすことが出来れば素晴らしいと思います。

*先生の御挨拶

関市立関商工高校

副校長 服部弘幸先生

年末は景文高等学校との交流にあたり大変お世話になりました。とても素敵なお交流事業で、生徒にとっては大人へと成長する大きな体験であったと感謝申し上げます。生徒にとっては日本と台湾の文化の違いを通じて、外へ目を向けることの大切さを学べた機会となりました。また11人誰もがたくましくなりました。私自身もこの事業を通して、関中央RCと関商工の更なる結びつきを深め、地元関市に還元しなければならないことを学校に報告致しました。今後もお世話になることばかりかと思いますがよろしくお願ひ申し上げます。また関中央RCが節目の創立40周年を迎えられるにあたり心よりお祝ひ申し上げます。



IAC顧問 佐賀あゆみ先生

生徒はもちろんのこと私自身も教員として視野が広がる学ぶことの多い機会になりました。出発前に中国語を勉強してのぞみましたが、景文高校の生徒とうまく交流できるのだろうか、また授業もハイレベルだと聞いておりましたので、ついていけるだろうかと心配しておりました。しかし、生徒の若い力ですぐに打ち解けられたと思います。本当に楽しく過ごすことができました。

私としましても景文高校の学校の様子、また先生方のお話しすることが出来まして、知識を深めることができました。また一番感謝していることは生徒が英語を

勉強したいな、もっと伝えたいと思ってくれたことです。英語の教員としてとてもうれしく思っております。景文高校との交流事業について、再来年も昨年以上に考え交流が出来たらと思っております。色々ご支援ありがとうございました。

*台湾訪問の報告

2年 山田 真衣さん

台湾を訪問し、日本と違うところをたくさん発見することができました。景文高校では日本語が流暢に話せる生徒が何人もいました。その多くは日本のアニメが好きで、日本語を学んで身につけたわけではなく、アニメを見て自然に身についたそうです。ホストファミリーとの生活を紹介すると、味のないお粥を朝食で食べました。伝統的な朝食だそうで、それにお肉を干してパウダーにした少し甘いものをふりかけのような感覚でかけて食べました。他家では朝食を学校に行く途中に買って学校で食べる生徒もいました。台湾の言葉もたくさん教えてもらい楽しかったです。三泊お世話になりましたが、本当の家族のように接してもらい、帰国するときは別れるのがつらかったです。日本ではできないことや見られないものを体験でき、視野を広げることができました。台湾訪問は私にとって宝物のような思い出です。このような体験をさせて頂き本当にありがとうございました。



2年 井藤 葉月さん

今回の景文高校との交流を通して台湾の生活や文化、環境の違いを学ぶことが出来ました。ホームステイなどでコミュニケーションがうまく取れるか不安がありました。話をするとき最初は頭の中で整理しないと伝わらないという不安で、なかなか言葉が出てきませんでした。時間がたつにつれ、親睦が深まり、最終的に自然に近い形で話をすることができました。景文高校の生徒も積極的に声をかけてくれ、仲良くなることができ嬉しく思っています。台湾で仲良くなった友達と会う約束をしたので、もう一度台湾に会いに行きたいと思っています。台湾での貴重な体験を忘れず、今後の生活を生かしていきたいです。そして台湾で学んだことを周囲にも伝えていきたいと思っています。





*総括 山田文夫国際奉仕委員長

今回は、来年の5月か6月になると思いますが、また台湾の方がいらっしゃいます。ぜひホストファミリーになっていただきたいと思います。今回の台湾でもホストファミリーになりたいという家庭が多く、一家庭一人になりました。ぜひ預かっていただいて、ホストファミリーの体験をして頂ければと思います。来年度も私が国際奉仕委員長になりますので、皆さんと相談しながら進めたいと思います。海外では閉鎖的になっている国もあり、こんな時勢ではございますが、国際的な感覚は、特に若い人には必要で大事なことだと思います。こういう機会がありましたら、積極的に参加して頂きたいと思います。



*出席委員会

会員数31名、本日の出席22名です。

*ニコボックス委員会

・会長・副会長・幹事

関商工高校 服部副校長 IA顧問佐賀先生台湾訪問お疲れ様でした。又、本日は山田さん、井藤さんの台湾訪問の報告よろしくお願ひします。

・前田仁夫君

前例会の卓話は風邪を引き大変失礼致しました。

・小澤重忠君

関商工高校の皆さん 台湾交流の報告ご苦労さまです。今後益々交流が深まっていくことを期待します。

22名のご投函ありがとうございました。

*幹事報告

・本日例会終了後役員会を行いますので関係者の方はご出席をお願いします。

<次例会の案内>

第1889回 2017年2月17日(金)

創立40周年記念式典

担当：40周年記念実行委員会